

## 宇管工 宇工高に実習資材を寄贈 配管技能士検定受験を支援

宇都宮市管工事業協同組合（和田均理事長）は19日、県立宇都宮工業高校に配管技能士試験の実習用資材を寄贈。和田理事長、川中子武保専務理事らが学校



50万円相当の資材を寄贈

を訪れ、小林綱芳校長に約50万円相当の資材を手渡した。

宇管工では、高校生の技能向上を図るため毎年実習用資材を寄付している。宇都宮工業高校では、資材を2級・3級技能試験を受験する生徒の実習に活用。今

年は2年生25人が受験を予定しており、うち5人は技能五輪の配管部門にもチャレンジする。

寄贈にあたり、和田理事長は「宇都宮工業高校や東京大学といった学校の卒業生が、我々の業界に就業してくれている。建築には設

備の知識も重要となるので、資機材を活用して技術を身につけてもらいたい」と語った。

小林校長は継続した寄贈に感謝の意を示すとともに、生徒の技能士試験合格に向けて資機材を大切に活用すると述べた。

寄贈したのは継手や銅管、塩化ビニール管、シールテープなど、生徒25人が5〜6回練習できる量。生徒の技術力向上のみならず、将来の業界発展にも意義ある寄贈となった。